

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## Emergency High Care Unit へ入院する患者に対するリアリティオリエンテーション（現実見当識確認）のせん妄予防効果に関する研究

### 1. 研究の対象

東海大学医学部付属病院救命救急センターEHCU病棟に2022年4月20日～10月20日までの間に緊急入院をされた方が対象となります。

### 2. 研究目的・方法

下の診療記情報等を利用し、時計とカレンダーを用いて日時を確認するリアリティオリエンテーションが、せん妄予防の効果があるのかを調べることを目的としています。研究を実施するため当院において救命救急センターのEHCU病棟へ緊急入院した患者を対象に下記の入院時の情報を分析し、せん妄の発症率と他の要因を調べて効果を検証します。

方法：リアリティオリエンテーションの実施前後の下記診療情報等を比較・分析し、結果を統計的に算出します。主この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：せん妄評価スケール（CAM-ICU）の測定結果、意識状態（グラスゴーコマスケール、鎮静スケール）、年齢、性別、疾患、既往歴、入院時の病棟、入院時間、部屋移動の有無、酸素投与の有無、リハビリテーション開始の有無、疼痛の有無、体温、呼吸数、脈拍数、血圧、血中酸素飽和度、統一されたリアリティオリエンテーション実施の有無

・試料：なし

#### 4. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等は研究者が自身で測定・解析を行います。したがって測定・解析を目的として収集した診療情報を他者に提供することはありません。

#### 5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

#### 6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：6293）

研究責任者 看護部 救命救急センター 松林 久美子

問い合わせ担当者 看護部 救命救急センター 松林 久美子

-----以上